

イベント

清掃活動

東庄ライオンズクラブでは、世界ライオンズデーに因んで環境美化作業として、毎年、黒部川並びに折沼川流域の河口堰清掃作業を実施しています。

今年は10月29日(日)にライオンズクラブ、折沼川漁業組合、国土交通省千葉県、東庄町、愛釣会、七花会、利根川河口堰管理所などの有志64名が集まって、黒部川並びに折沼川の堤防或いは水辺に投棄された空き缶、ビン、ビニール、廃材等の回収作業を行い、分別をおこないました。

今年の10月は毎週末天候がすぐれず雨を心配しましたが、曇りで作業もはかどりました。今後も多くの町民や近隣の自治



体と連携を図って実施される予定です。

また、東総広域水道企業でも、黒部川流域の清掃活動を年2回実施しています。利根川河口堰管理所では、この清掃活動にも6月と11月に参加しました。



東庄ふれあいまつり

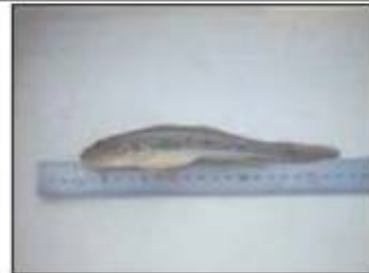
「第18回東庄ふれあいまつり」は、東庄町が町制施行50周年に当たり祭りのイベント内容も豊富で、多くの方が参加されていました。東総用水管理所と利根川河口堰管理所でも並んで出展し、両管理所の事業についての認知度アンケート(50名)やパネル展示を行い、各々の事業について説明を行いました。

生物図鑑

利根川の秋の生物相

園内に生息するハゼの種目は、多岐ありますが、ハゼ釣りの主な対象となる種は、マハゼだそうです。マハゼは、底が泥や砂になっているところに生息し、ゴカイ類、小魚

などを食べているようです。今秋も、利根川河口堰周辺は、ハゼ釣りで賑わいました。ハゼ釣りの仕掛けは、ウキ釣りの仕掛け、投げ釣りの仕掛け等、色々あり、また、岸から釣ったり、船から釣ったり、釣る場所も色々です。運がよければ、一日に百匹を越える釣果をあげることも期待できるそうです。釣った魚は、天ぷらにして食べると、非常に美味だそうです。



編集後記

みなさんは、利根川河口堰の「禁漁区」をご存じでしょうか？
これは、千葉県及び茨城県「内水即漁業調整規則」によって魚類の採取が禁止されている、利根川河口堰の上下流110mの区域のことです。違反した場合は、6ヶ月以下の懲役若しくは十万円以下の罰金か処せられます。自然保護の為に禁漁区域を守ってください。
(編集担当者)

地域を守る湖止堰

河口堰だより

発行所
利根川河口堰管理事務所
〒284-0806千葉県東庄町
〒284-0806千葉県東庄町
〒284-0806千葉県東庄町
TEL 0478-88-0477

地域・ユーザーの声

(執筆著)

東庄町まちづくり委員長
山本 牧夫 氏

夢のある街づくり

大自然の中を悠々と流れる、大河利根川の流れに抱かれた、水と緑あふれる東庄町は、『☆躍動・遠望・輝き☆夢の荘 心の匠』とうのしゅう』をテーマに、町民の誰もが夢を描き挑戦できる、景観や施設、産業などがすばらしい理想的な町の『夢の荘』、町民の優しい心がひとつになって行動する、文化や学習、福祉などが盛んな地域

社会の『心の匠』をテーマに、新しいまちづくりを進めています。自然と共生する美しく快適な町を形成し、町民の連携と交流を強めながら、この町で生きていくことの充実感と幸福感をばぐくみ、住んでよかった、これからも住んでみたいと思うような町づくりを、そして、町が培ってきた良さを基礎としながら、町民が夢を描き心が結びつき助け合っていけるまちづくりを目指しています。新しく建設された町の庁舎も、公民館と一体となって利用できる施設であり、文化祭や各種の展示や催しに使用され、効率的な利用が図られています。

毎年11月には、町の活性化、郷土意識と町民の連帯意識の高揚を図るため、『東庄ふれあいまつり・町文化祭』が開催され、大勢の町民が参加し賑わいを見せています。



賑わいを見せるふれあいまつり

利根川と河口堰

利根川河口堰は、本町の新築地先に昭和46年完成し、大河の中に悠然と現れた姿に、当時、私たち地域住民は

驚きの目を見張ったものです。塩害を目的とした利根川河口堰は、治水、利水の面でも重要な役割を果たし、農業用水や水道用水の確保など、私たちに水の恵を与えてくれています。堰の管理橋は千葉県と茨城県を結ぶ幹線道路として整備され、対岸の鹿島臨海工業地帯との密接なかわりを持つ地域発展の要となっています。河口堰約1km上流の河川敷には、地元小学生の提案により、野鳥や魚の観察をおして身近な水辺自然の大切さ、雄大さを体感してもらうため、『野外学習及び水とのふれあいの場』として公園が整備され、地域住民の憩いの場所となりました。河口堰竣工の頃に、敷地内に植えられた桜の木は大きく育ち、春には満開の花が私たちの目を楽しませ、花見



に興ずる人も大勢見受けられるようになりました。新しくなった管理棟には展示ホールが設置され、水や自然の大切さ、利根川や河口堰の役割などわかり易く教えてくれます。地元として、河口堰管理所との密接な連携を図りながら、水の恵みに感謝し、水の大切さを認識し、水質の浄化や地域住民の安全な生活環境を確保し、利根川と共存していかなければと感じています。

利根川ヨリ公園

「河口堰だより第9号」にてお知らせしましたとおり、今年度もゲート整備に伴い『利根川大橋の全面通行止め』を行います。

本年度は、千葉県側にある調節1号門扉が整備対象となっており、この整備内容のうち、昨年実施した調節9号門扉同様、ゲートの開閉装置に付随する「ドラムギヤ(歯車)」を工場持ち込みにより整備を行うものです。このドラムギヤは、サイズが大きく重量もかなりあることから、機械室からの搬出および搬入の際は、安全対策上万全を期す必要が

あるため、利根川大橋を全面通行止めにせざるを得ません。

全面通行止めの期間
平成17年12月9日(搬出)
平成18年2月3日(搬入)
 の2日間です。

また、全面通行止めを行う時間は、交通量の少ない**午前0時(夜中)から午前6時30分(早朝)**です。

本整備に伴い皆様方には、大変ご迷惑をお掛け致しますが、全面通行止めに伴う情報につきましては、「予告板等の設置」、「ピラの配布」、管理所入口の「電光掲示板」、近隣の市町村広報誌により、お知らせさせていただきます。



ます。ご理解とご協力の程、よろしくお願い致します。

利根川大橋全面通交止めののお知らせ

利根川下流沿川紀行



駒形神社と句碑の位置 (羊町観光案内板)

駒形神社

平安末期の頃、利根川の大洪水により村人たちは大層食べ物に困り穀神をまつって神社を建立した。その後、五穀大いに実り安心しておられるようになったと言われ、地名もこれから「安食」と改められた。



利根川を詠んだ句碑

栄町には利根川を詠んだ多くの句碑が建てられている。ここは俳句が盛んな所で多くの俳人が訪れた。

1. 成田山新勝寺 第18代大僧正 荒木東章 「菜の花や 利根の堤の大曲り」

長門川公園内にある 荒木東章の句碑

2. 栄町に生まれた 筒田麦子 「月の出の川面あかるしくつむ虫」

長門川公園内にある 筒田麦子の句碑

3. 利根川を高瀬船で下りながら 高浜虚子 「水溜む 利根の堤や 吹くは北」

長門橋付近にある 高浜虚子の句碑

4. 安食小学校のある 高台から 藤代町出身の俳人 高野素十 「夜掘りの火 沼に燃え」

安食小学校にある 高野素十の句碑

5. 柴漬探求のため 訪れた折 水原秋桜子 「柴漬や 古利根けふの 日き沈む」

甚兵衛橋付近にある 水原秋桜子の句碑 (利根川愛好会会長 林 敏夫)

防災訓練

毎年9月1日の防災の日には、全国各地で地震を想定した訓練が行われています。利根川河口堰でも、大規模な地震が発生したという想定で防災訓練を行いました。

防災訓練は、河口堰職員の間、関係する防災意識の維持・高揚を図る目的で、職員を招き訓練、情報収集、伝達訓練、施設臨時点検訓練、予備発電機の運転訓練、消火訓練及び災害が発生した場合の応急対策等の実地訓練を行いました。

今年度は地震の発生が多く、河口堰では4月から5回の地震発生による臨時点検を行いました。施設の安全を確認しました。

地域の方々も備えあれば憂いなしという言葉がある。一方が一つの地震に備えて、家族の集合場所の確認や防災用品などの備えをお勧めします。

予備発電機の運転訓練と消火訓練の様子